

東京都市大学のブランドビジョン

科学を基盤にサステナブルな社会発展を目指す

私たちが住むこの地球上の環境を損なうことなく社会全体を多角的、総合的に見ながら、未来に向けて持続可能(サステナブル)な発展をもたらすための人材育成と学術的研究を進めることを理念に各学部では教育・研究を行っています。

理工学部

人材養成および
教育研究上の目的

科学技術の根幹をなす“ものづくり”を支える工学と、自然科学における真理の探求を目指す理学を融合した理工学部では、「理論と実践」という教育理念に基づき、理工学分野の基礎および専門知識を身に付けるとともに、科学的根拠に基づいた実践によって社会の要請に応えることができる先進的な技術力や論理的な思考力を備えた人材を養成することを目的とします。

求める人物像

- 高等学校で学習する内容をよく理解して、専門分野を学ぶために必要な基礎学力を備えている人
- 自然科学および科学技術に強い関心を持ち、未知の課題に取り組む意欲がある人
- 理工学部で学び、専門知識と実践する力を身に付けることを目指す人
- 多面的な思考力と幅広い視野を持って自らの考えを述べることができ、社会の持続的発展や人類の福祉に貢献する志を持つ人

高校での学習について

理工学部での学修を無理なく進めるために、高等学校では次の科目を履修していることが望まれます。

- 数学(数学I、数学II、数学III、数学A、数学B)
- 理科(物理基礎、化学基礎、生物基礎、物理、化学、生物)
- コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II

建築都市デザイン学部

人材養成および
教育研究上の目的

建築都市デザイン学部は、住環境から都市環境さらには地球環境までをデザインし、建築都市の諸問題を解決するための学問追求という教育理念に基づき、現実に即したアイデアと理論的裏付けのあるデザインにより、建築や都市の将来を担える高い能力を備えた建築家、技術者を養成することを目的とします。

求める人物像

- 高等学校で学習する内容をよく理解して、建築学や都市工学を学ぶために必要な基礎学力を備えている人
- 建築や都市に強い関心を持ち、未知の課題に取り組むことやデザインをすることに意欲がある人
- 建築都市デザイン学部で学び、専門知識と実践する力を身に付けることを目指す人
- 建築学や都市工学と社会の関わりについて考えることができ、幅広い視野を持って社会の持続的発展や人類の福祉に貢献する志を持つ人

高校での学習について

建築都市デザイン学部での学修を無理なく進めるために、高等学校では次の科目を履修していることが望まれます。

- 数学(数学I、数学II、数学III、数学A、数学B)
- 理科(物理基礎、化学基礎、物理、化学)
- コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II

上記以外に、高校で学ぶすべての科目を重層的に履修することが望まれます。

情報工学部

人材養成および
教育研究上の目的

現代の“情報社会”はネットワークの高度化、ビッグデータ解析技術および人工知能(AI)等の発展により“超スマート社会”に進化しようとしています。“超スマート社会”では、情報科学の様々な専門知識を身に付けた技術者、IoTを駆使できる技術者、AI・ビッグデータ解析技術等を諸問題解決に適用できる能力を有する技術者が必要です。情報工学部では、“超スマート社会”の発展に寄与する「知の創造」を担う人材を養成することを目的とします。

求める人物像

- “超スマート社会”において、イノベーションから新たな価値の創造(知の創造)を志向する人
- 数学・自然科学に対して興味と探究心を持ち基礎学力と思考力を合わせ持つ人
- “超スマート社会”を支える知識・技能を修得する志を持つ人
- 修得した知識と技能を利用して、国籍、経歴、専門等が異なる人々とコミュニケーションし協働作業することを志向する人

高校での学習について

情報工学部での学修を無理なく進めるために、高等学校において、数学、理科、英語を中心とした基礎学力を身に付けておいてください。特に、数学に対しては「数学I、数学II、数学III、数学A、数学B」を、英語に対しては「コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II」を、それぞれ履修していることが望まれます。

東京都市大学の入学者受入れの方針

東京都市大学は、持続可能な社会発展をもたらすための人材育成を目的とし、その目的を達成するための学術研究の領域ごとに学部を設置しています。各学部では、それぞれ定めた「人材養成および教育研究上の目的」に基づき、以下のような能力・意欲・目標を持つ人を求めます。

- ① 大学教育に求められる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を持つ人
- ② 当該学部学科の学術研究領域に対応する強い関心と意欲に基づき、自ら学ぶ姿勢を持つ人
- ③ 教育研究を通じて身につけた幅広い視野と専門的学識により、持続可能な社会発展に寄与する人材となることを目標とする人

環境学部

人材養成および 教育研究上の目的

環境問題の解決には、自然生態系と社会システムの関係を総合的に理解し改善することが必要です。そのために、自然と調和した地域や都市の環境を創生する能力を備えた人材、経済活動の環境負荷を低減した社会システムを実現する能力を備えた人材を養成することを目的とします。

求める人物像

- 生態系の保全・復元、環境に配慮した都市環境、持続可能な社会を実現する意欲のある人
- 自然のメカニズムや環境の分析・調査に関する知識や技能を身に付けたい人
- 環境問題を理解する思考力や環境を可視化し発信する表現力を身に付けたい人
- 環境問題解決のために主体的に行動し、周囲と協働できる人
- 多様な人々と価値が共存するグローバル社会に対応する意欲のある人

高校での学習について

環境学部での学修を無理なく進めるために、高等学校では次の科目を履修していることが望まれます。

- 数学(数学I、数学II、数学A、数学B)
- 国語(国語総合)
- 英語(コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III)

メディア情報学部

人材養成および 教育研究上の目的

変化する情報・コミュニケーション環境のもとで、新たな情報社会を創り出すことを目指します。そのために情報通信技術が生み出す社会を調査、分析し、より良い生活の実現に向け、情報システムや社会の仕組みを創造し、さらに評価、改善できる人材を養成することを目的とします。

求める人物像

- 学科の学修に必要な基礎的学力を身に付けている人
- 学科の研究領域に関心を持ち、情報と社会の諸問題に取り組む高い意欲がある人
- 知的好奇心が旺盛で、主体的に学修を深めることができる人

高校での学習について

メディア情報学部での学修を無理なく進めるために、高等学校での学修について以下のことを求めます(社会人・外国人留学生については、必ずしもその限りではありません)。

- 【社会メディア学科】
次の科目を履修していることが望まれます。
- 英語(コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II)
 - 国語(国語総合)または数学(数学I、数学II、数学A、数学B)
- 【情報システム学科】
次の科目を履修していることが望まれます。
- 英語(コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II)
 - 数学(数学I、数学II、数学A、数学B)

都市生活学部

人材養成および 教育研究上の目的

国際化、情報化が進み、世界人口の半数以上が都市に暮らす現代、人々の生活の質を持続的に高める都市創造の学問と実践が必要です。都市を学ぶ総合的な学修環境の中で、社会科学と空間デザインの両方のスキルを幅広く習得し、都市の新時代をリードするビジネスと文化の創造力を身に付けて、企業人や専門家として国際社会で活躍できる人材を養成することを目的とします。

求める人物像

- 都市生活学部の理念に共感し「都市」に関心を持ち、将来、都市に関連する分野で活躍したいと望む人
- 商学や経営学等の社会科学系の勉学を基本にし、街並みやインテリアなどの空間デザイン、都市の文化・芸術など、幅広い分野に興味を抱き、好奇心旺盛な人
- 世界中の都市を舞台に、価値ある都市生活の創造に向けて国際社会で活躍したいと望む実践的な人

高校での学習について

都市生活学部での学修を無理なく進めるために、高等学校の次の科目を履修していることが望まれます(入学試験のタイプで受験科目は異なります。また、国際化対応のために英語力の研鑽などが望まれます)。

- 英語(コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III)
- 国語(国語総合)
- 地歴(世界史A、日本史A、地理A、世界史B、日本史B、地理Bの中から2科目以上)
- 数学(数学I、数学II、数学A、数学B)

人間科学部

人材養成および 教育研究上の目的

人間科学部では、「保育・教育」「発達・心理」「文化」「保健・福祉」「環境」について総合的に理解し、その向上に貢献できる豊かな感性としなやかな知性を具えた高い専門性を持つ自立する人材の養成を目指しています。

求める人物像

- 子どもと子どもに関わる大人について学ぶ意欲の高い人
- 大学で学ぶための基礎学力がある人
- 自律心があり、人と協力しながら積極的に行動できる人
- 目的に向かって困難を乗り越え努力しようとする強い意思を持つ人

高校での学習について

人間科学部での学修を無理なく進めるために、文系科目はもとより、理系科目も含めた幅広い基礎的知識の学習が必要です。特に国際的な観点からも外国語の能力が求められます。